


SPECIAL PARTS TAKEGAWA

# モンキーＲ専用 S-Stage KIT 取扱説明書

ノーマル５０ｃｃのシリンダーヘッドを使用したままで８８ｃｃにボアアップができ、ＨＥＡＶＹなエンジンフィーリングが体験できるキットをＮＥＷリリース。プラモデル感覚でＥＡＳＹに組み上げて、楽しみながらエンジン構造の勉強が出来るストリートユースキットに仕上げました。

| | |
|---|---|
| 商品番号 | 01-05-503 D-KIT |
| モンキーＲ / ＲＴ | AB22-1000017～ |

・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

## ⚠使用燃料についてのご注意⚠

**ＳステージＫＩＴは､ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので､燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい｡レギュラーガソリンを使用すると､異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に､ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります｡ＫＩＴ取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい｡レギュラーガソリンが残っている場合は､必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい｡**

## ⚠スパークプラグについてのご注意⚠

**スパークプラグは必ずＣ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換して下さい。尚、抵抗入りスパークプラグの場合はＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳＲ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換して下さい。スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。**

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型２輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付２種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックスおよび、エアークリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起こり、重大な事故につながる恐れがあります。
◎燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

**⚠注意**　この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

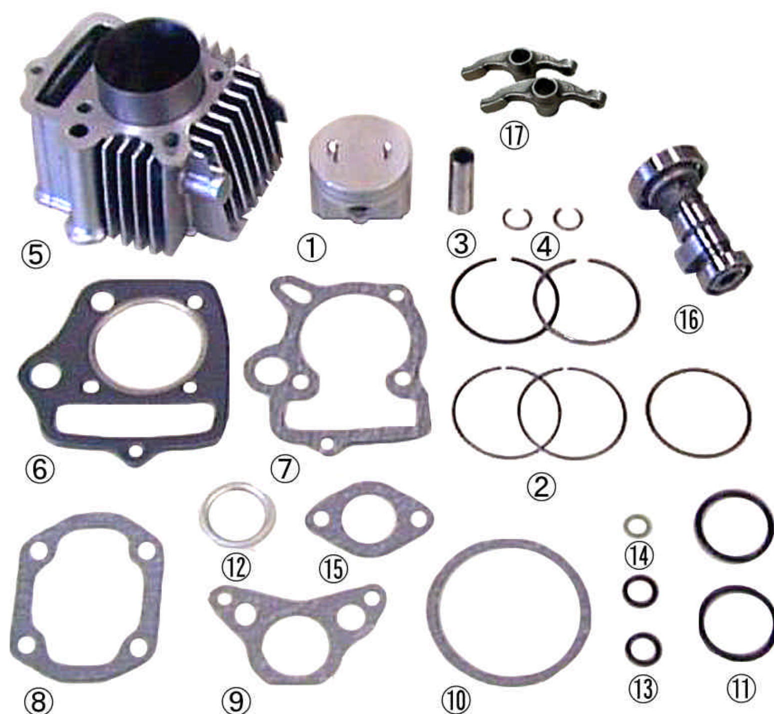
・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
　（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
　（部品の脱落の原因となります。）
　※シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

**⚠警告**　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
　（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
　（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
　（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。
◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて戴きます。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

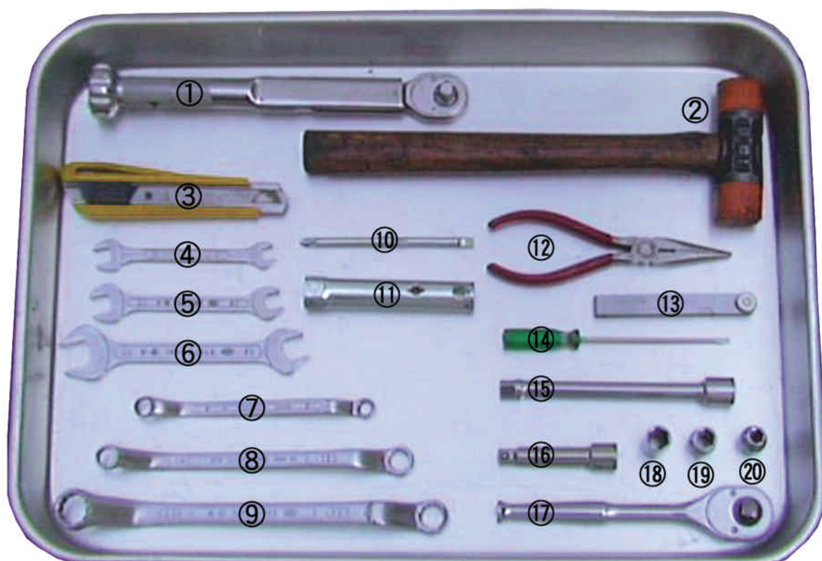
**Lesson**
◇ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まる。
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず指で締まるところまで締めましょう。１～２回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から左へ３～４回転回すことをいい、取り外すということは左へネジが取れるまで回すことをいう。
◇ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにする事を締めるといいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのがトルクレチです。この説明書ではＰＬ法（製造物責任法）によりトルクを記載していますが、トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみて下さい。但し、当社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めると折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。




◇キット内容

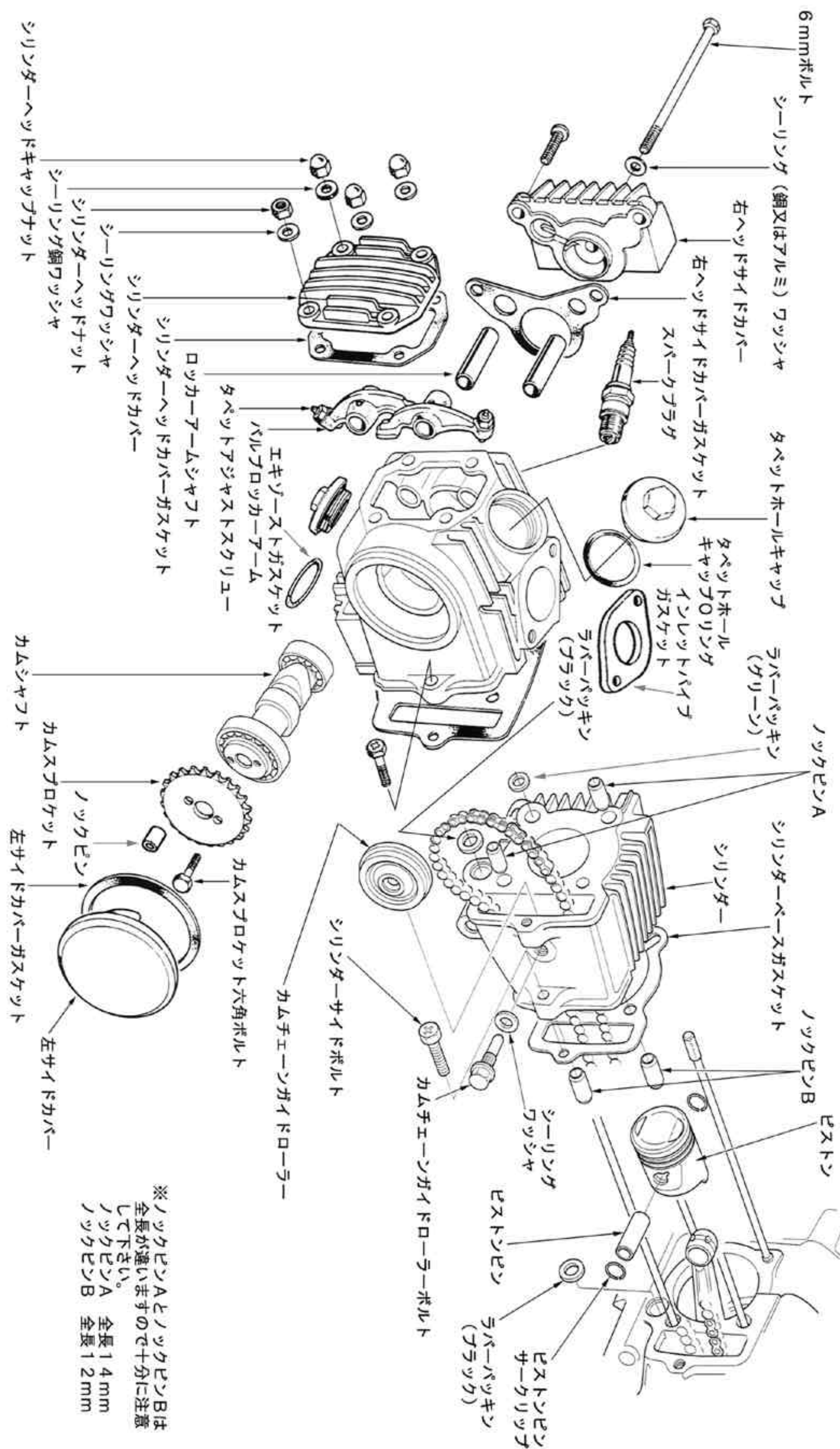
| NO. | Description | QTY |
|---|---|---|
| 1 | ピストン | 1 |
| 2 | ピストンリング | 1 |
| 3 | ピストンピン | 1 |
| 4 | ピストンサークリップ | 2 |
| 5 | シリンダー | 1 |
| 6 | ヘッドガスケット | 1 |
| 7 | シリンダーベースガスケット | 1 |
| 8 | ヘッドカバーガスケット | 1 |
| 9 | 右サイドカバーガスケット | 1 |
| 10 | 左サイドカバーガスケット | 1 |
| 11 | タペットキャップOリング | 2 |
| 12 | マフラーガスケット | 1 |
| 13 | Oリング－A（ブラック） | 2 |
| 14 | Oリング－B（グリーン） | 1 |
| 15 | インレットパイプガスケット | 1 |
| 16 | カムシャフト | 1 |
| 17 | ロッカーアーム | 2 |

◇取り付けに使用する工具等




| | |
|---|---|
| 1 | トルクレンチ |
| 2 | プラスチックハンマー |
| 3 | カッターナイフ |
| 4 | スパナ　　８－１０ |
| 5 | スパナ　１０－１２ |
| 6 | スパナ　１４－１７ |
| 7 | メガネレンチ　　８－９ |
| 8 | メガネレンチ　１２－１４ |
| 9 | メガネレンチ　１４－１７ |
| 10 | プラグレンチハンドル　（車載工具） |
| 11 | プラグレンチ　（車載工具） |
| 12 | ラジオペンチ |
| 13 | シクネスゲージ |
| 14 | マイナスドライバー　（極細先） |
| 15 | ジョイント　（中） |
| 16 | ジョイント　（小） |
| 17 | ラチェットレンチ |
| 18 | ボックスレンチ　１２mm |
| 19 | ボックスレンチ　１０mm |
| 20 | ボックスレンチ　　８mm |

# ノーマル部品各部名称




※ノックピンAとノックピンBは全長が違いますので十分に注意して下さい。
ノックピンA　全長１４mm
ノックピンB　全長１２mm

## １．キャブレターを取り外す。


◇フューエルコックをＯＦＦにする。


◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト２本のボルトを反時計方向に回して取り外す。

使用工具　　８mm　メガネレンチ

## ２．エキゾーストパイプを取り外す。


◇シート裏の後方にあるシート取り付けナットを反時計方向に回して外し、 シートを外す。

使用工具　　１０mm　ボックスレンチ
＆　ジョイント（小）



◇マフラージョイントボルトを反時計方向に回して緩める。

使用工具　　１２mm　ボックスレンチ


◇マフラーを止めているボルトを反時計方向に回して外す。

使用工具　　１２mm　メガネレンチ


◇マフラーをエキゾーストパイプから抜き取る。


◇エキゾーストパイプをフレームに止めているボルトを反時計方向に回して取り外す。このときフレームとエキゾーストパイプの間のパッキンは再使用するので、 とっておく。

使用工具　　１２mm　ボックスレンチ


◇エキゾーストパイプをシリンダーヘッドにとめている２個のナットを反時計方向に回して取り外す。

使用工具　　１０mm　スパナ

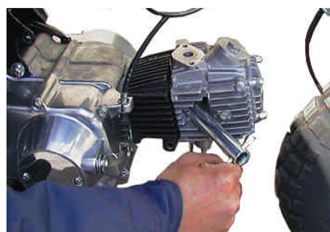

◇エキゾーストパイプをフレームから抜き取る。

## ３.フロントフェンダーを取り外す。


◇フロントフェンダーの４個のボルトを反時計方向に回して取り外し、フロントフェンダーを取り外す。

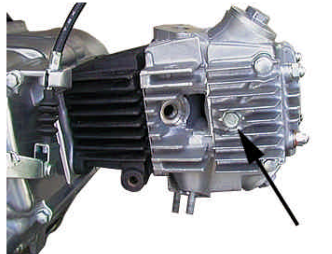
使用工具　　８mm　メガネレンチ

## ４．スパークプラグを取り外す。


◇プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外して下さい。

◇車載工具のプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。

## ５．シリンダーヘッド左カバーを取り外す。


◇シリンダーヘッド右カバーの真ん中の六角ボルトを外すと左カバーが外れる。（ボルトを外しても外れない場合六角ボルトを２～３山ねじ込み六角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる）

使用工具　　１０mm　ボックスレンチ



## ６．クランクケース左カバーを取り外す。


◇クランクケース左カバーを止めているボルト３本を反時計方向に回し取り外す。

使用工具
８mmスパナ
８mmボックスレンチ＆ショートジョイント

## ７．タペットキャップ２個を取り外す。


◇タペットキャップ２個を反時計方向に回し取り外す。

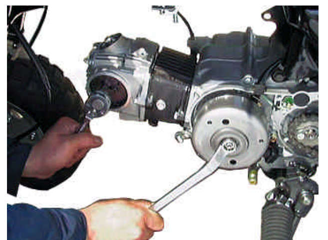
使用工具　　１７mmメガネレンチ

## ８．カムスプロケットを取り外す。






◇フライホイールのＴマークとカムスプロケットのＯマークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。


◇フライホイールを固定しカムスプロケット六角ボルト２個を反時計方向に回し取り外す。

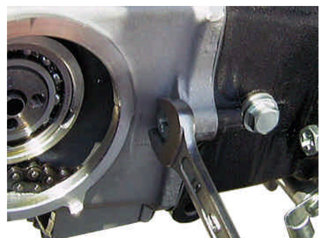
使用工具
８mmボックスレンチ
１４mmメガネレンチ(フライホイール固定用)


◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。

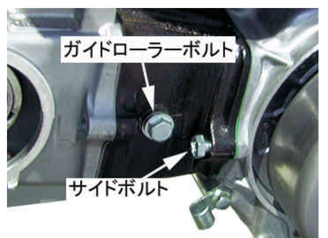
◇カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。

◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

## ９．シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す。


◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。

使用工具
１０mmスパナレンチ



◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回しゆるめる。

使用工具
１０mmスパナレンチ＆１０mmメガネ

## 10. シリンダーヘッドカバーを取り外す。

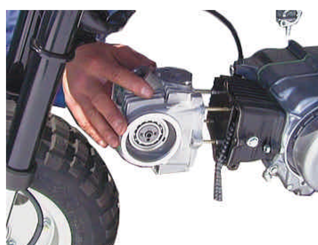


◇シリンダーヘッドカバーを止めているナット４個を対角の順番に反時計方向へ回し取り外す。
◇ナット下にあるワッシャー４枚を取り外す。
使用工具　　10mmボックスレンチ

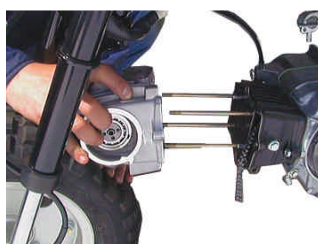


◇ヘッドカバーを取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーかカッター等できれいに取り除く。

## 11. シリンダーヘッドを取り外す。



◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)

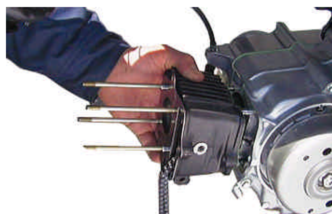


◇シリンダーヘッドを取り外す。
◇ノックピン２個は再使用するので取り外しておく。

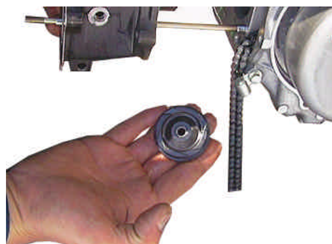
## 12. シリンダーを取り外す。



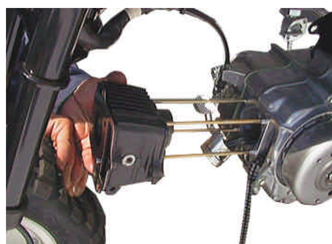
◇ゆるめておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



◇シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す)



◇シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。

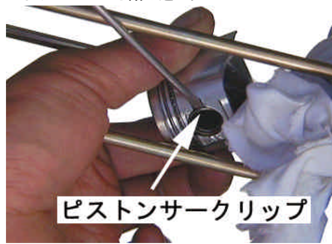


◇ピストンが抜けたら、シリンダーを前方へ取り外す。

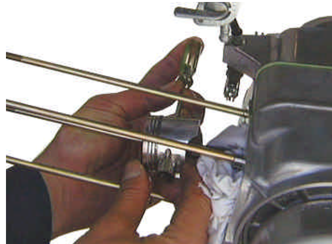
## 13. ピストンを取り外す。



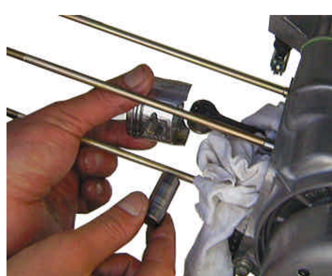
◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。




◇ピストンサークリップの片側を取り外す。ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。
使用工具　　先の細いマイナスドライバー

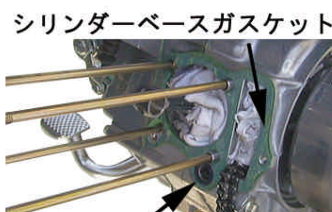


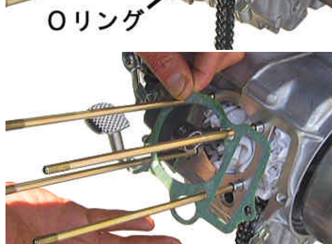
◇ピストンピンをピストンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれます。



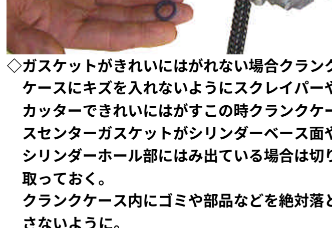
◇ピストンを取り外す。

## 14. シリンダーベースガスケット・Oリング・ノックピンを取り外す。

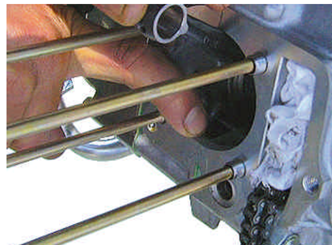


◇ガスケットがきれいにはがれない場合クランクケースにキズを入れないようにスクレイパーやカッターできれいにはがすこの時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面やシリンダーホール部にはみ出ている場合は切り取っておく。
クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。



◇上写真の指さし部にはみ出ているガスケットがあれば切り取っておく。

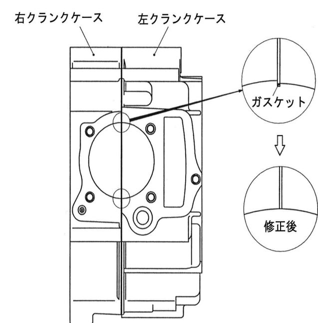


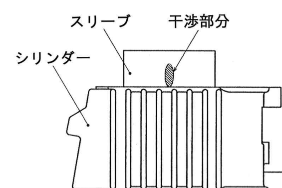
## アルミシリンダー取り付け時の注意

左右クランクケースのズレ等により、シリンダーを取り付ける際、クランクケース合わせ面のスリーブ穴、丸印部分とシリンダースリーブの斜線部分及びケース内部で、干渉する場合があります。そのままの状態で使用するとスリーブが変形しエンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。
この作業は難易度は高いけれどチョット、プロの作業に近づいた感じはありますね。

## 修　正　要　領

1．クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰める。
2．クランクケース合わせ面のズレの出っ張っている部分を引っ込んでいる部分と同じ高さになるまでヤスリで削ります。
3．削り取ったら削り粉がクランクケース内に入らないよう慎重にウエスを取り除く。
4．ウエスを取り除いた後は、きれいなウエスをクランクケースの穴に詰めておく。
5．キットの組立が終わってエンジンをアイドリングで数分かけた後、すぐにエンジンオイルを新品に交換すればＯＫ。



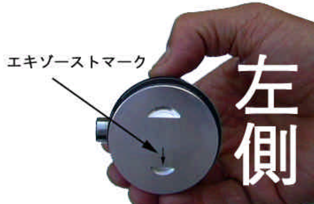




## S－StageKIT 取り付け

1．ピストンを組み付ける



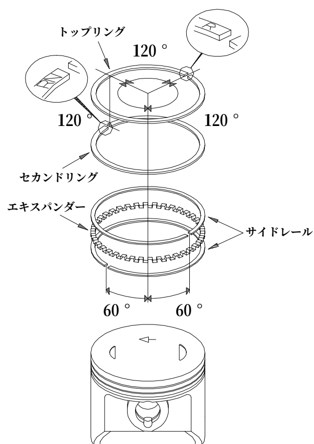
◇ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。
この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。



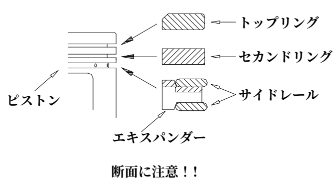

◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。
◇ピストンサークリップは左側を先にはめ込みます。
使用工具　　先の細いマイナスドライバー

◇ピストンリングみぞにエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

◇ピストンリングの合い口をそろえる




トップリングの上面にはＲの刻印セカンドリングの上面にはＲＮの刻印があります。






◇オイルリングエキスパンダーを入れる。



◇下オイルリングサイドレールを入れる。



◇上オイルリングサイドレールを入れる。



◇セカンドリングを入れる。

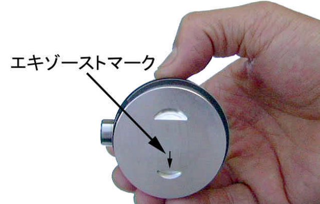


◇トップリングを入れる。

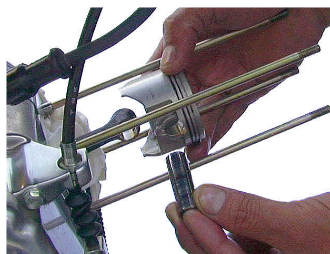




◇ピストンピン部とコンロッドにエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。




◇ピストンヘッド部三角マークの先を下（エキゾースト側）になるようにしてピストンを取り付ける。



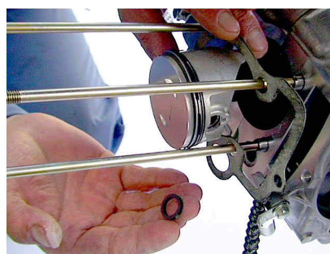
◇ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿入しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。
◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。



◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。
押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行って下さい。
目に入らぬように防護めがねなどを着用して下さい。
◇詰めていたウエスを取り外す。

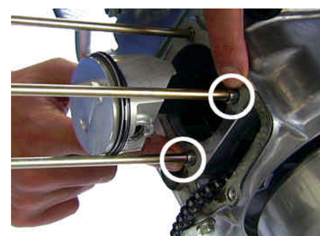
## ２．シリンダーの取り付け

◇シリンダーベースガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。

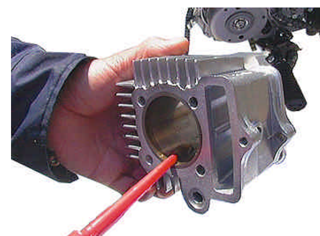




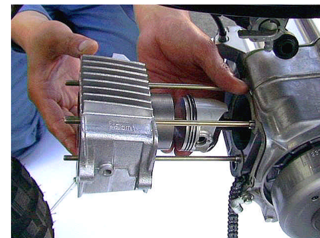
◇シリンダーベースガスケットとブラックのラバーパッキンを取り付ける。



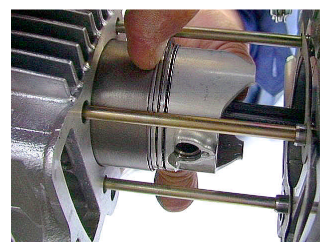
◇ノックピン２個が取り付いているか点検。



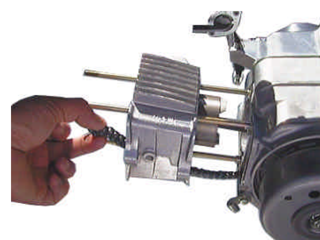
◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



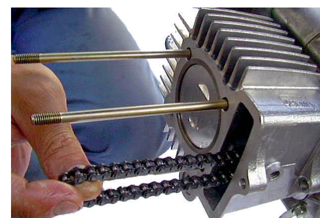
◇シリンダーを入れていく。



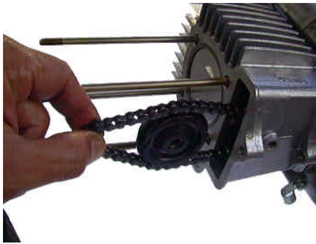
◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様にしながら指で押し少しずつはめる。ここは難易度が高いです。がんばって下さい。

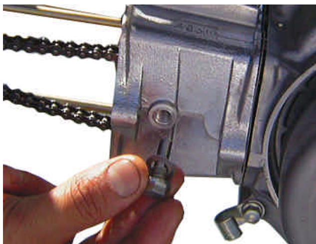


◇リングがシリンダーにはいったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。

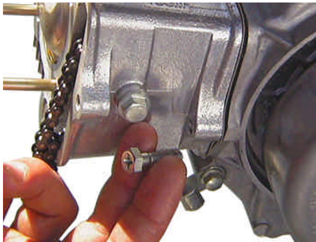


◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーをつける。

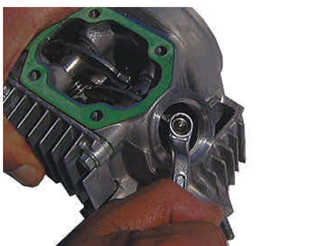




◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。

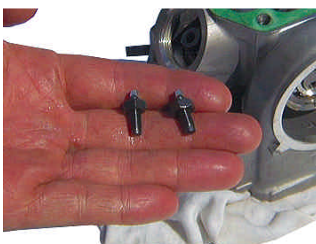


◇ガイドローラーボルトを取り付ける。
（指で閉まる程度まで仮止め）



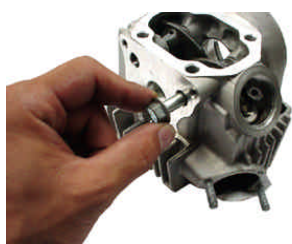
◇シリンダーサイドボルトを取り付ける。
（指でしまる程度まで仮止め）

## 3.カムシャフトとロッカーアームの交換

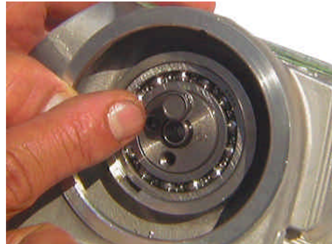


◇シリンダーヘッドに組まれているロッカーアームのタペットナットとボルトを取り外す。
タペットナットを緩めた時点でタペットボルトをナットと一緒に取り外す。

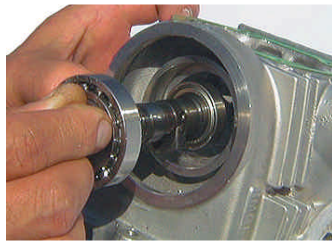
使用工具　　9mmメガネレンチ



◇ロッカーアームシャフトに８mmのボルトをねじ込み、 ロッカーアームシャフトを抜いて、ロッカーアームを取り出す。



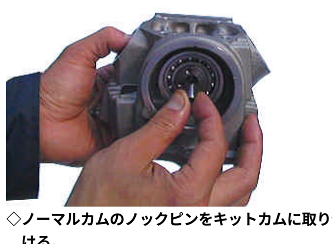
◇カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け､引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたくと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



◇キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付ける。カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもハンマー等でたたかず手で入れる。



◇ロッカーアームシャフトにきれいなエンジンオイルを塗布し、キット内のロッカーアームを取り付ける。



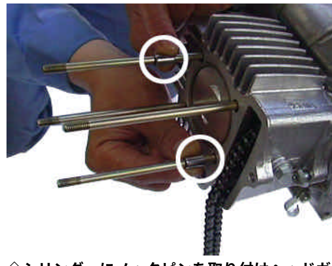
◇ノーマルカムのノックピンをキットカムに取り付ける。



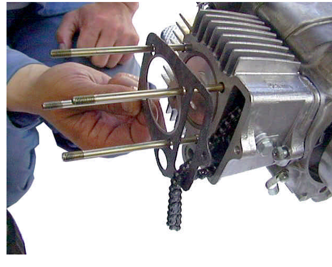
◇ロッカーアームのタペットスクリューを時計方向に回して取り付ける。

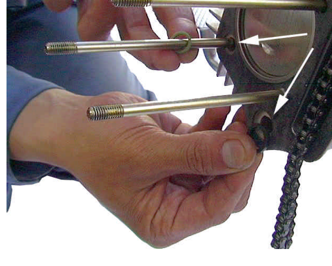
## 4．シリンダーヘッド取り付け。

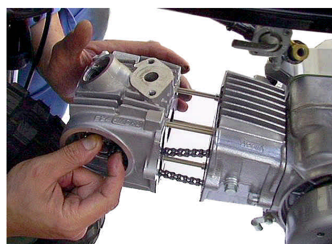
◇シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。



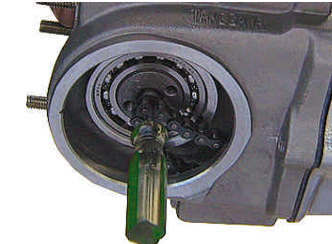
◇シリンダーにノックピンを取り付けヘッドガスケットとブラックとグリーンのラバーパッキンをそれぞれ取り付ける。
パッキンは外れやすいので要注意。



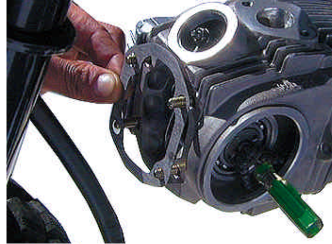




◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取り付ける。



◇カムチェーンはシリンダーの方に落ちない様にカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。

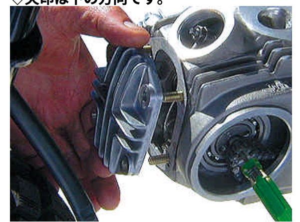


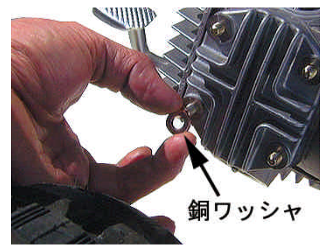
◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。



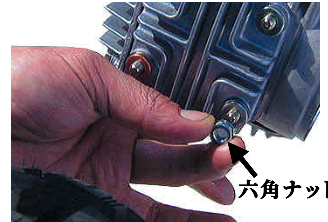
上下マークに注意

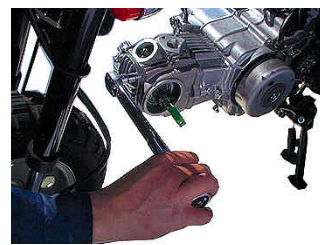
◇矢印は下の方向です。






◇ヘッドカバーのワッシャーとナットを取り付ける。（エンジンを前から見て左下が銅ワッシャー残りの３つは鉄ワッシャー、右下が六角ナット残りの３つがふくろナット）



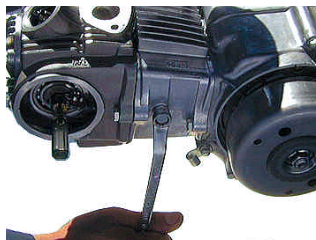
◇ヘッドナットを均等に締め付ける。
（トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める）
締め付けトルク　１．２kg-m
使用工具　　　１０mmボックスレンチ



◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

使用工具　　　１０mmスパナレンチ
　　　　　　　１０mmメガネレンチ





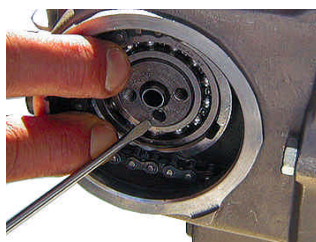


締め付けトルク
ガイドローラーボルト　１．０kg-m
サイドボルト上下　　　１．０kg-m

## ５．カムスプロケットの取り付け

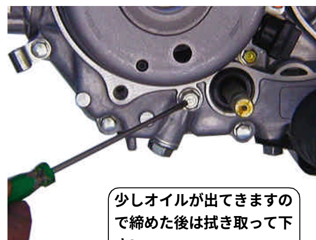


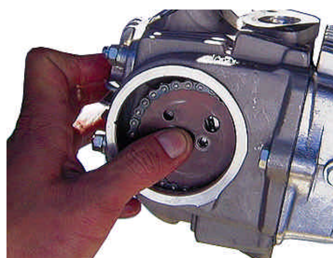

◇フライホイールのＴマークをクランクケースの切りかき部に合わす。



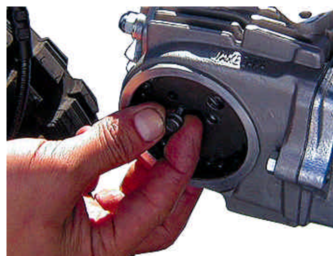
◇カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けたときカム山がピストン側を向く様にかむシャフトをセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。

※オプションカム取り付けの場合、オプションカムの説明書の指示に従って下さい。



ここは難易度が高いです。がんばって下さい。
◇チェンジペダルのシャフトの横にある六角ボルトを取り外す。カムチェーンを引っ張っているテンショナーがゆるむのではめやすくなります。カムスプロケットをはめたあとはボルトを取り付ける。カムチェーンにカムスプロケットをかけながらカムスプロケットのＯマークとシリンダーヘッドの切りかき部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。





◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを２本締め付ける。
締め付けトルク　　０．９kg-m
使用工具　　　８mmボックスレンチ
　　　　　　　１４mmメガネレンチ

## ６．バルブタイミング調整とタペット調整

ここは難易度が高いです。がんばって下さい。

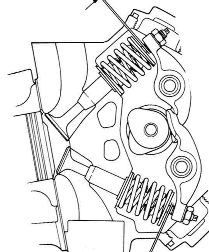


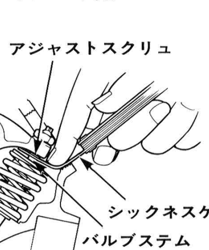

シリンダーヘッド側

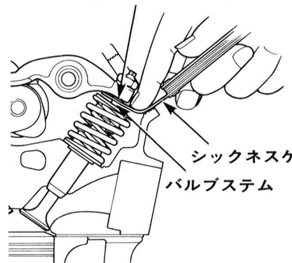



フライホイール側

◇カムシャフトのＯマークとフライホイールのＴマークがそれぞれの切りかきに合う様にして止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムスプロケットを取り付けてＴマークとＯマークが同時に合えばＯＫ。

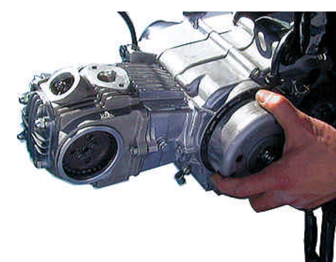




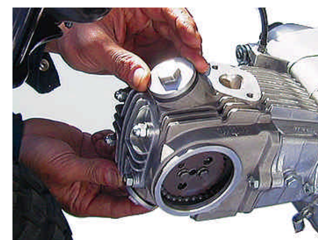

◇ロッカーアームのタペットスクリューを締め込んでいきタペットスクリューとバルブステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットナットを締め付ける（少し抵抗があるというのがわからない場合0.07と0.03のシグネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03がゆるゆるに入る様に合わせればだいたい0.05ミリということになる）ＩＮ．ＥＸ共に0.05ミリに合わせる。
使用工具　ラジオペンチ，９mmメガネレンチ
　　　　　シクネスゲージ

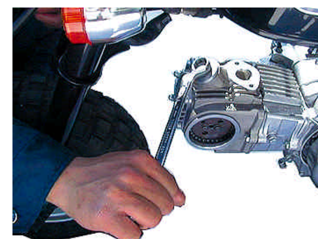


◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを２回転手で回した後でＴマークとＯマークを合わせる。



◇タペットすき間が変化していないか点検しすき間が合っていればＯＫ、くるっている場合は調整する。





◇タペットキャップ２個を取り付ける。
締め付けトルク　１．２kg-m
使用工具　　　１７mmメガネレンチ

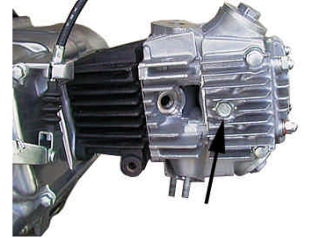
## ７．シリンダーヘッド左カバー取り付け

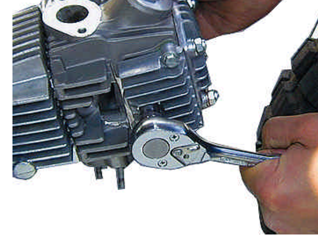


◇シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。
（左サイドカバーがボルトを締めたときに右回りしないように回り止めを合わせる）



（回り止めを合わせる）





◇シリンダーヘッド右側の六角ボルト（矢印）を締める。
締め付けトルク　１．２kg-m
使用工具　　　１０mmボックスレンチ

## ８．スパークプラグの取り付け。



◇車載工具かプラグレンチを使いプラグを取り付ける。
締め付けトルク　１．１kg-m
使用工具　プラグレンチ

◇プラグキャップをプラグに取り付ける。

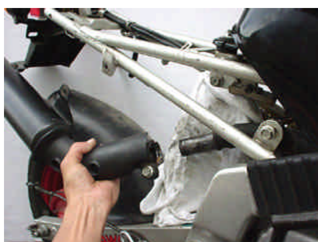
## ９.エキゾーストパイプの取り付け



ａ．エキゾーストパイプをフレームに通してシリンダーヘッドに差し込み、ナット２個を仮止めする。



ｂ．エキゾーストパイプをフレームにボルトで仮止めする。このとき、フレームとエキゾーストパイプの間に、パッキンを入れておく。



ｃ．マフラーをエキゾーストパイプに差し込み、フレームにボルトで仮止めする。

◇仮止めした箇所とマフラージョイントボルトを本締めする。
締め付けトルク　ａ．　１．２kg-m
ｂ．ｃ．　２．２kg-m
マフラージョイントボルト　２．２kg-m
使用工具　１０mmスパナ
１２mmボックスレンチ

◇シートのつめをタンクとフレームに引っかけ、ボルト部をフレームの穴に通してナットで取り付ける。
締め付けトルク　１．２kg-m
使用工具　１０mmボックスレンチ
＆　ジョイント（小）

## １０．キャブレターの取り付け

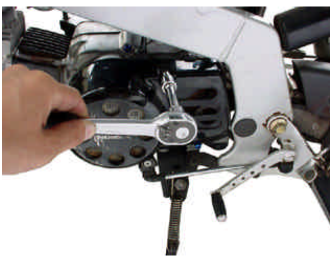


◇インレットパイプにＯリングが付いていることを確認する。



◇インレットパイプを、シリンダーヘッドに２本のボルトで取り付ける。
締め付けトルク　１．０kg-m
使用工具　８mmメガネレンチ

## １１．クランクケース左カバーの取り付け



◇クランクケース左カバーを止めているボルト３本を取り付ける。
締め付けトルク　１．０kg-m
使用工具　８mmボックスレンチ
＆　ショートジョイント

## １２.フロントフェンダーの取り付け



◇フロントフェンダーを４本のボルトで取り付ける。
締め付けトルク　１．０kg-m
使用工具　８mmメガネレンチ

## １３．各部チェック等

◇エンジンから足廻りまで取り付けたボルト類に緩みがないかチェックする。
◇コックをＯＮにし、エンジンをかけて５分程暖機運転をする。


SPECIAL PARTS TAKEGAWA
〒５８４－0069
大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７
FAX ０７２１－２４－５０５９